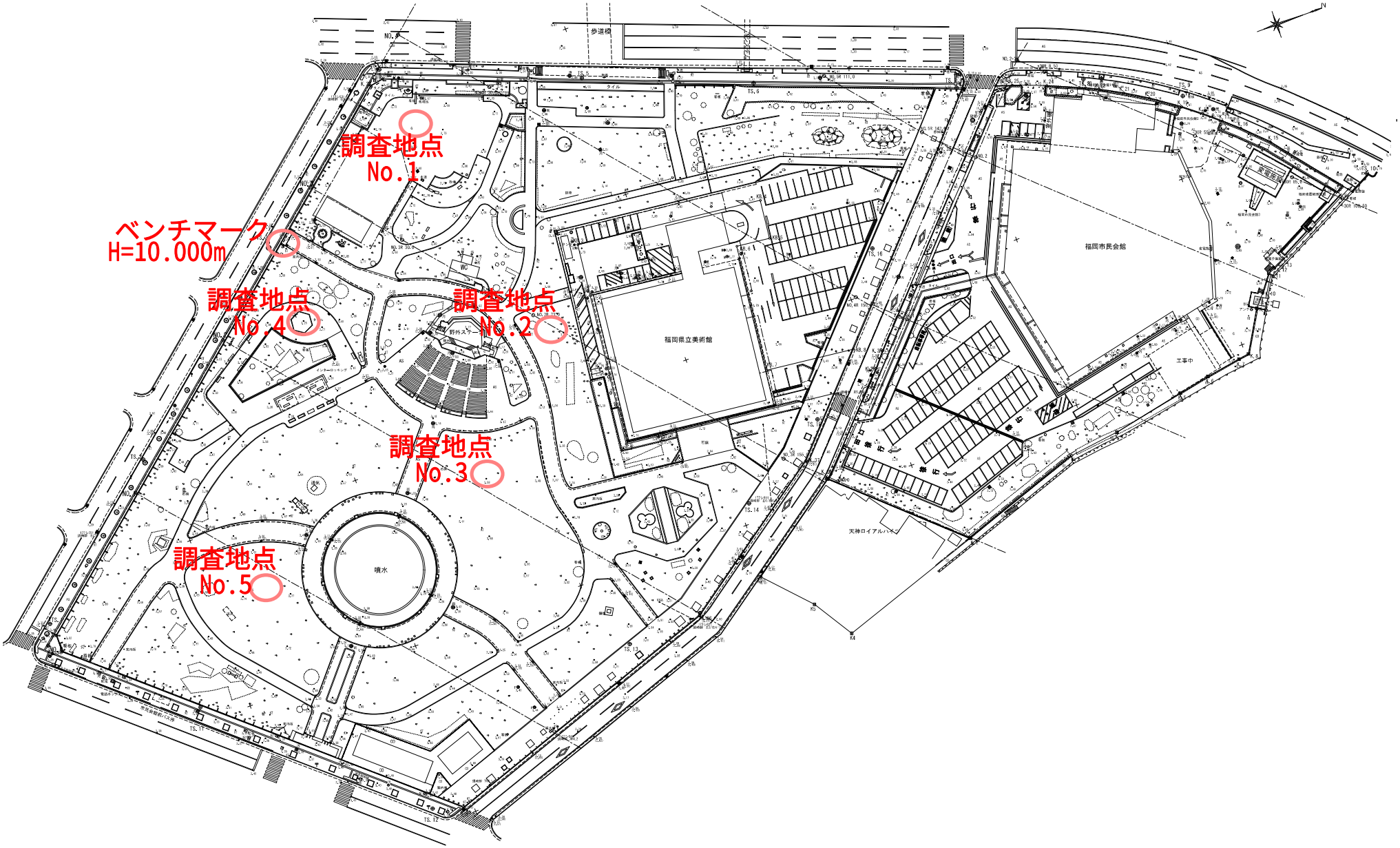
調査地点位置図


調査地点
No.1
ベンチマーク
H=10.000m
調査地点
No.4
調査地点
No.2
調査地点
No.3
調査地点
No.5
福岡県立美術館
福岡市民会館
噴水
天神ロイヤルパーク
工事中

ボーリング柱状図

調　査　名　拠点文化施設整備地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo	1

シートNo

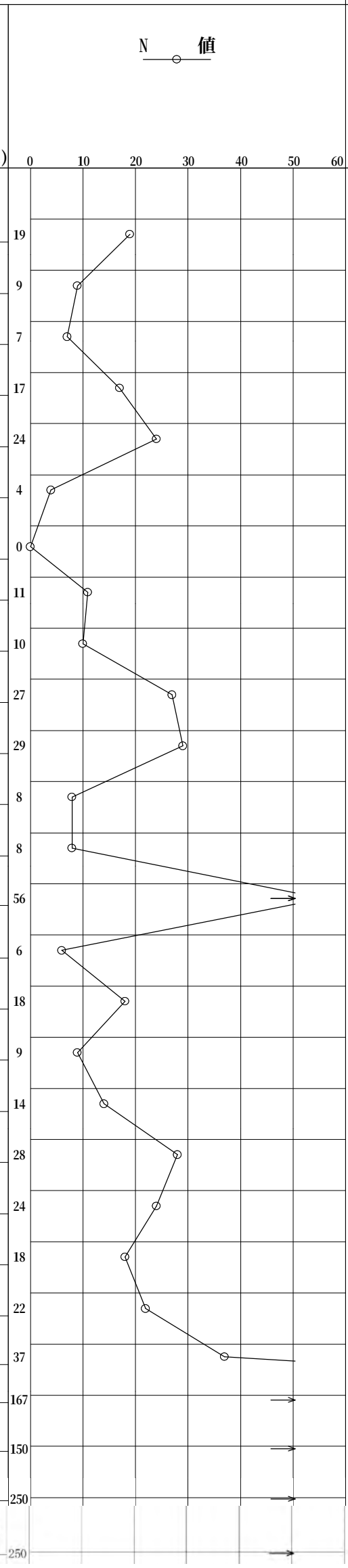
ボーリング名	No.1	調査位置	福岡市中央区天神5丁目地内					北緯	33°5969’ ”
発注機関	福岡市経済観光文化局文化振興部文化施設課			調査期間	平成 29年 7月 21日 ～ 29年 7月 24日			東経	130°3977’ ”
調査業者名	株式会社エムアイティー 電話（092-565-7908）	主任技師	伊佐　学	現場代理人	伊佐　学	コア鑑定者	伊佐　学	ボーリング責任者	田中　克博
孔口標高	9.97m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	27.00m								

試験			
試錐機	東邦DO-D	ハンマー落下用具	自動
エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1					盛土	暗褐、褐灰、淡褐			全体に礫混り砂による盛土。砂は中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。	7/24 1.80
2										
3										
4	5.87	4.10	4.10							
5	4.87	1.00	5.10		砂	淡褐灰			細粒質砂から中粒質砂が主体。	
6	4.17	0.70	5.80		礫混り砂	淡褐			細粒質砂から中粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。	
7					シルト混り砂	暗褐、暗褐灰、淡褐			細粒質砂から中粒質砂が主体。シルトはかなり多く混じる。深度7m付近は含水量が多く緩い。	
8										
9	0.97	3.20	9.00							
10					礫混り砂	暗褐、褐灰、淡褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が全体に多く混じる。	
11	-1.83	2.80	11.80							
12					粘土混り礫混り砂	暗褐、淡褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから30mm程度の礫が不均一に混じる。深度13m付近は含水量が多い。	
13	-3.53	1.70	13.50							
14					礫混り砂	褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。	
15	-5.83	2.30	15.80							
16					粘土混り礫混り砂	淡褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。深度17m付近は含水量が多い。	
17	-7.83	2.00	17.80							
18					風化、頁岩	淡褐灰、褐灰			強風化から弱風化を受ける。	
19										
20	-10.63	2.80	20.60							
21					風化、礫岩	淡褐灰、暗緑灰			強風化から弱風化を受け、概ね下部になるにしたがって風化の程度は弱くなる。	
22										
23	-13.53	2.90	23.50							
24					礫岩	淡緑灰			硬く、亀裂が多い。砕石状ないし短柱状のコアとして採取。	
25										
26	-15.93	2.40	25.90							
27	-17.03	1.10	27.00		砂質頁岩	淡茶褐			硬く、短柱状ないし棒状のコアとして採取。	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	3	2	14	19/30	19
1.45 2.15	2	3	4	9/30	9
2.45 3.15	2	2	3	7/30	7
3.45 4.15	6	5	6	17/30	17
4.45 5.15	8	8	8	24/30	24
5.45 6.15	1	2	1	4/30	4
6.45 7.15	ハンマー自沈			0/50	0
7.65 8.15	3	4	4	11/30	11
8.45 9.15	1	5	4	10/30	10
9.45 10.15	7	8	12	27/30	27
10.45 11.15	9	10	10	29/30	29
11.45 12.15	3	3	2	8/30	8
12.45 13.15	2	2	4	8/30	8
13.45 14.15	18	17	15/7	50/27	56
14.42 15.15	2	2	2	6/30	6
15.45 16.15	5	6	7	18/30	18
16.45 17.15	2	2	5	9/30	9
17.45 18.15	4	5	5	14/30	14
18.45 19.15	7	10	11	28/30	28
19.45 20.15	7	7	10	24/30	24
20.45 21.15	6	6	6	18/30	18
21.45 22.15	6	7	9	22/30	22
22.45 23.10	10	11	16	37/30	37
23.40 24.05	50/9			50/9	167
24.14 25.00	50			50/10	150
25.10 26.00	50/6			50/6	250
27.00 27.06	50/6			50/6	250



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
						7/21
						7/22
						7/24

ボーリング柱状図

調　査　名　拠点文化施設整備地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo	2

シートNo

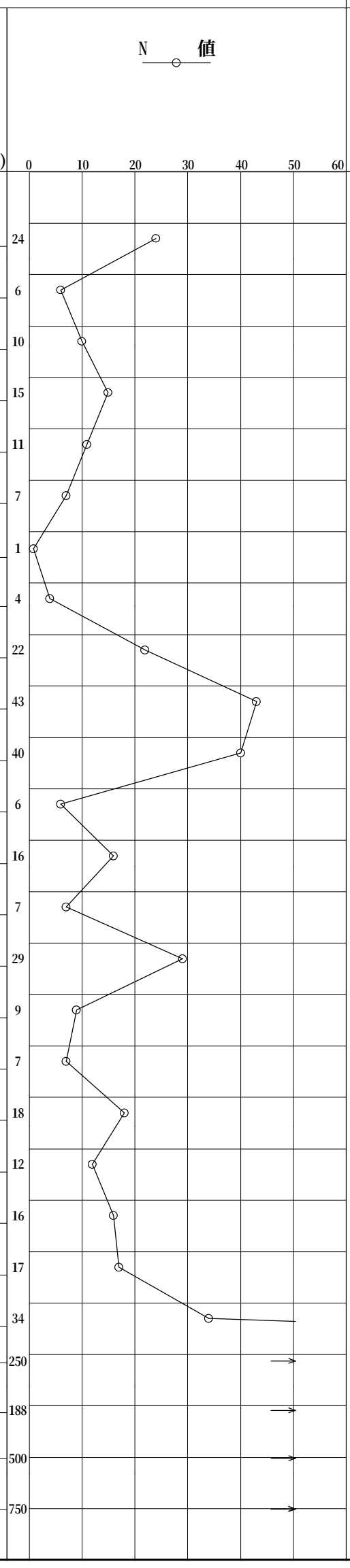
ボーリング名	No.2	調査位置	福岡市中央区天神5丁目地内					北緯	33°5970’ ”
発注機関	福岡市経済観光文化局文化振興部文化施設課			調査期間	平成 29年 7月 18日 ～ 29年 7月 21日			東経	130°3985’ ”
調査業者名	株式会社エムアイティー 電話（092-565-7908）	主任技師	伊佐　学	現場代理人	伊佐　学	コア鑑定者	伊佐　学	ボーリング責任者	田中　克博
孔口標高	10.36m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	
総掘進長	26.00m								

試験機	東邦DO-D	ハンマー落下用具	自動
エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
1 2 3 4 5	4.76	5.60	5.60		盛土	褐灰、茶褐、褐灰			全体に礫混り砂による盛土。砂は中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから15mm程度の礫が不均一に混り、部位によっては礫が密集する。	7/21 2.20
6	3.86	0.90	6.50		砂	褐灰			細粒質砂が主体。比較的に緩い。	
7	2.56	1.30	7.80		シルト混り砂	暗褐			微粒質砂から細粒質砂が主体。シルト分はかなり多く混じる。また、含水量が多く、非常に緩い。	
8 9	0.86	1.70	9.50		シルト混り礫混り砂	暗褐			細粒質砂から中粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じり、深度9m付近から礫分がかなり多く混じる。全体に含水量が多い。	
10 11	-1.24	2.10	11.60		礫混り砂	褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が全体に多く混じる。	
12 13	-3.14	1.90	13.50		粘土混り礫混り砂	暗灰			細粒質砂から中粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。粘土分はかなり多く混じる。また、やや含水量が多い。	
14	-4.24	1.10	14.60		礫混り砂	暗褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。	
15	-5.24	1.00	15.60		粘土混り礫混り砂	暗灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。粘土分はかなり多く混じる。	
16 17	-7.14	1.90	17.50		固結粘土	淡緑灰			粘性は強く、堅い。	
18	-8.44	1.30	18.80		粘土混り礫混り砂	暗緑灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから5mm程度の小礫が不均一に混じる。	
19 20	-10.34	1.90	20.70		固結粘土	淡緑灰			粘性は強く、堅い。	
21 22 23	-12.74	2.40	23.10		風化、砂岩	淡茶褐			強風化から弱風化を受け、概ね下部になるにしたがって風化の程度は弱くなる。上部に若干粘土化が見られる。	
24 25	-14.74	2.00	25.10		砂岩	暗緑褐			細粒質砂岩。硬く、短柱状ないし棒状のコアとして採取。	
26	-15.64	0.90	26.00		礫岩	淡茶褐			やや亀裂が多いが、硬い。短柱状ないし棒状のコアとして採取。	

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	8	8	8	24/30	24
1.45 2.15	2	2	2	6/30	6
2.45 3.15	2	4	4	10/30	10
3.45 4.15	5	5	5	15/30	15
4.45 5.15	3	4	4	11/30	11
5.45 6.15	2	3	2	7/30	7
6.45 7.15	1/35			1/35	1
7.50 8.15	1	1	2	4/30	4
8.45 9.15	6	8	8	22/30	22
9.45 10.15	12	15	16	43/30	43
10.45 11.15	11	15	14	40/30	40
11.45 12.15	2	2	2	6/30	6
12.45 13.15	3	5	8	16/30	16
13.45 14.15	2	2	3	7/30	7
14.45 15.15	8	10	11	29/30	29
15.45 16.15	2	3	4	9/30	9
16.45 17.15	2	2	3	7/30	7
17.45 18.15	5	6	7	18/30	18
18.45 19.15	2	3	7	12/30	12
19.45 20.15	3	6	7	16/30	16
20.45 21.15	4	3	10	17/30	17
21.45 22.15	6	14	14	34/30	34
22.45 23.10	50/6			50/6	250
23.16 24.05	50/8			50/8	188
24.13 25.00	50/3			50/3	500
25.03 26.00	50/2			50/2	750
26.02					



原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				7/19
				7/20
				7/21

ボーリング柱状図

調　査　名　拠点文化施設整備地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo	3

シートNo

ボーリング名	No.3	調査位置	福岡市中央区天神5丁目地内					北緯	33°5966’ ”
発注機関	福岡市経済観光文化局文化振興部文化施設課			調査期間	平成 29年 7月 31日 ～ 29年 8月 2日			東経	130°3992’ ”
調査業者名	株式会社エムアイティー 電話（092-565-7908）	主任技師	伊佐　学	現場代理人	伊佐　学	コア鑑定者	伊佐　学	ボーリング責任者	中田　英二
孔口標高	10.88m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	
総掘進長	22.00m								

試錐機	東邦DO-D	ハンマー落下用具	自動
エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3C

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	7.38	3.50	3.50		盛土	暗褐、淡茶褐			全体に礫混り砂による盛土。砂は中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
	3.98	3.40	6.90		礫混り砂	淡茶褐、暗灰			粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
	2.08	1.90	8.80		シルト混り砂	暗褐			微粒質砂から細粒質砂が主体。シルト分はかなり多く混じる。また、含水量が多く、非常に緩い。
	-1.62	3.70	12.50		礫混り砂	褐灰、淡茶褐			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
	-2.92	1.30	13.80		礫混りシルト混り砂	暗褐			細粒質砂から中粒質砂が主体。礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。シルトはかなり多く混じる。また含水量が多く、かなり緩い。
	-5.62	2.70	16.50		礫混り砂	褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。
	-8.02	2.40	18.90		風化、砂岩	淡茶褐			強風化から弱風化を受け、概ね下部になるにしたがって風化の程度は弱くなる。上部に若干粘土化が見られる。
	-11.12	3.10	22.00		砂岩	淡茶褐、暗緑褐			中粒質砂岩。やや亀裂が多いが、硬い。

孔内水位(m)／測定月日：8/2 2.50

標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	2	2	5/30	5
1.45 2.15	4	4	4	12/30	12
2.45 3.15	3	3	4	10/30	10
3.45 4.15	4	5	5	14/30	14
4.45 5.15	3	2	4	9/30	9
5.45 6.15	3	2	1	6/30	6
6.45 7.15	1	1	1	3/30	3
7.45 8.15	1/15	1/15		2/30	2
8.45 9.15	2	3	2	7/30	7
9.45 10.15	1	1	5	7/30	7
10.45 11.15	7	9	8	24/30	24
11.45 12.15	5	6	7	18/30	18
12.45 13.15	3	2	2	7/30	7
13.45 14.15	4	2	3	9/30	9
14.45 15.15	7	7	8	22/30	22
15.45 16.15	7	7	5	19/30	19
16.45 17.15	3	4	5	12/30	12
17.45 18.15	4	5	5	14/30	14
18.45 19.15	12	15	23	50/30	50
19.45 20.15	12	17	21/8	50/28	54
20.43 21.15	14	21	15/5	50/25	60
21.40 22.05	22	28/8		50/18	83
22.23					

原位置試験 深度(m)	試験名および結果

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
				7/31
				8/1
				8/2

ボーリング柱状図

調　査　名　拠点文化施設整備地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo	4

シートNo

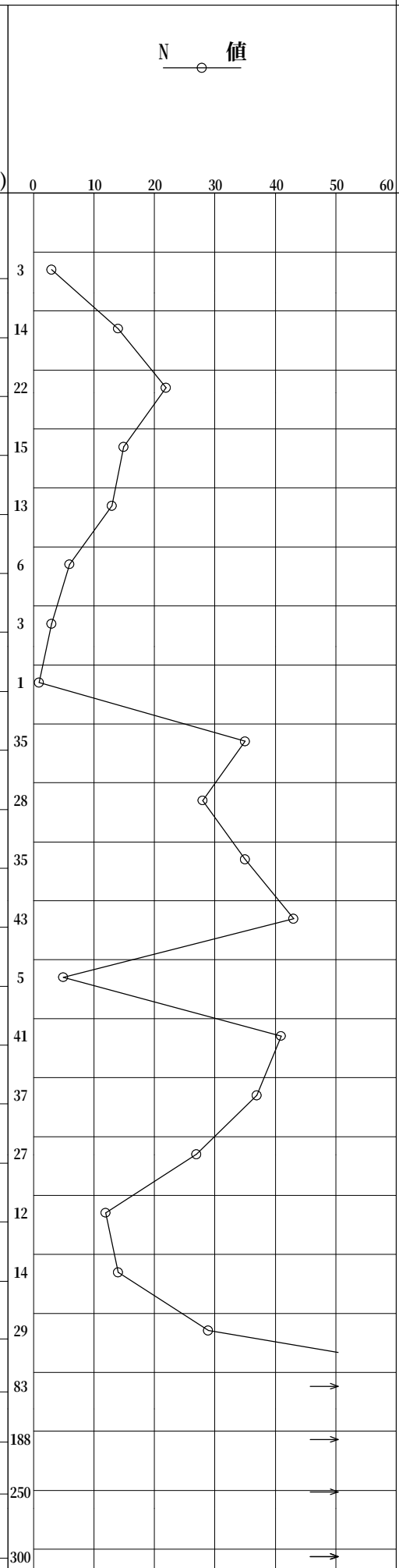
ボーリング名	No.4	調査位置	福岡市中央区天神5丁目地内						北緯	33°5964’ ”
発注機関	福岡市経済観光文化局文化振興部文化施設課			調査期間	平成 29年 7月 27日 ～ 29年 7月 31日				東経	130°3983’ ”
調査業者名	株式会社エムアイティー 電話（092-565-7908）	主任技師	伊佐　学	現場代理人	伊佐　学	コア鑑定者	伊佐　学		ボーリング責任者	田中　克博
孔口標高	10.49m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	東邦DO-D	ハンマー落下用具	自動
総掘進長	23.00m								エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2 3 4	6.39	4.10	4.10		盛土	淡茶褐			全体に礫混り砂による盛土。 砂は中粒質砂から粗粒質砂が主体。 礫径2mmから12mm程度の礫が不均一に混じる。
5	4.69	1.70	5.80		礫混り砂	淡茶褐			粗粒質砂が主体。 礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。
6 7 8	1.89	2.80	8.60		シルト混り砂	暗褐			微粒質砂から細粒質砂が主体。 シルト分はかなり多く混じる。 また、含水量が多く、非常に緩い。
9 10 11 12	-2.11	4.00	12.60		礫混り砂	淡褐灰、淡茶褐			中粒質砂から粗粒質砂が主体。 礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
13 14	-4.01	1.90	14.50		礫混りシルト混り砂	暗褐			細粒質砂から中粒質砂が主体。 礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。 シルトは不均一に混じる。 また含水量が多く、かなり緩い。
15 16	-6.31	2.30	16.80		礫混り砂	淡褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。 礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。
17 18 19 20	-9.51	3.20	20.00		風化、砂岩	淡茶褐			強風化から弱風化を受け、 概ね下部になるにしたがって風化の程度は弱くなる。 上部に若干粘土化が見られる。
21 22 23	-12.51	3.00	23.00		砂岩	暗緑褐			中粒質砂岩で、硬い。 砕石状ないし短柱状のコアとして採取。

孔内水位(m)／測定月日：7/31 2.60

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45 2.15	4	4	6	14/30	14
2.45 3.15	7	7	8	22/30	22
3.45 4.15	5	5	5	15/30	15
4.45 5.15	5	4	4	13/30	13
5.45 6.15	2	2	2	6/30	6
6.45 7.15	1	1	1	3/30	3
7.45 8.15	1/30			1/30	1
8.45 9.15	10	10	15	35/30	35
9.45 10.15	9	10	9	28/30	28
10.45 11.15	10	12	13	35/30	35
11.45 12.15	11	14	18	43/30	43
12.45 13.15	2	2	1	5/30	5
13.45 14.15	10	15	16	41/30	41
14.45 15.15	13	12	12	37/30	37
15.45 16.15	9	8	10	27/30	27
16.45 17.15	3	4	5	12/30	12
17.45 18.15	5	5	4	14/30	14
18.45 19.15	7	9	11/8	27/28	29
19.43 20.15	22	28/8		50/18	83
20.33 21.10	50/8			50/8	188
21.18 22.00	50/6			50/6	250
22.06 23.10	50/5			50/5	300
23.15					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日：7/27、7/28、7/31

ボーリング柱状図

調　査　名　拠点文化施設整備地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo	5

シートNo

ボーリング名	No.5	調査位置	福岡市中央区天神5丁目地内					北緯	33°5961’ ”
発注機関	福岡市経済観光文化局文化振興部文化施設課			調査期間	平成 29年 7月 24日 ～ 29年 7月 27日			東経	130°3989’ ”
調査業者名	株式会社エムアイティー 電話（092-565-7908）	主任技師	伊佐　学	現場代理人	伊佐　学	コア鑑定者	伊佐　学	ボーリング責任者	田中　克博
孔口標高	10.89m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	22.00m								

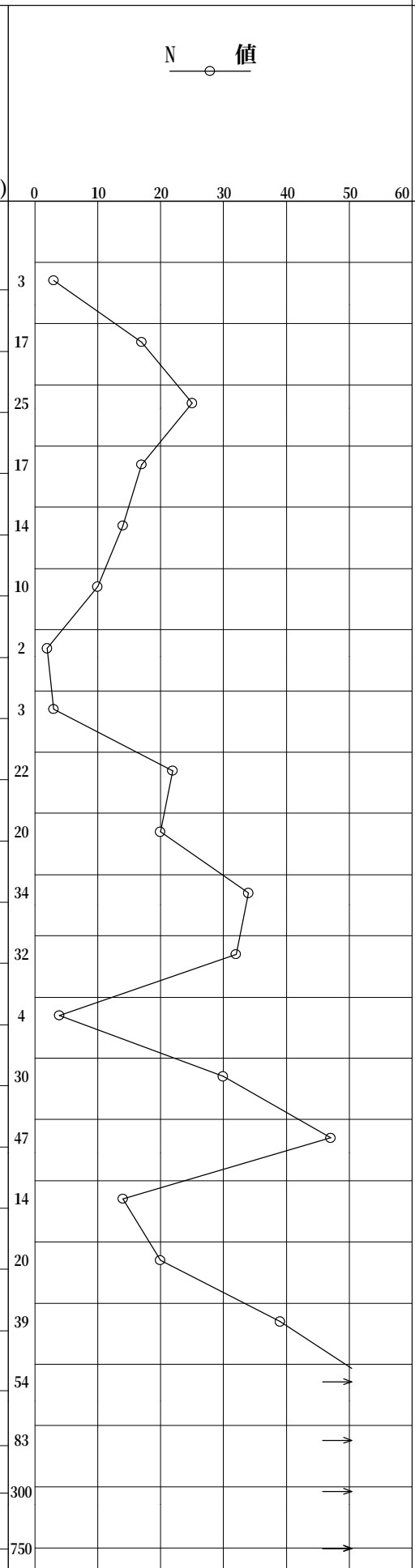
試験			
試錐機	東邦DO-D	ハンマー落下用具	自動
エンジン	NFD-12	ポンプ	BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2 3	7.39	3.50	3.50		盛土	暗褐、淡茶褐			全体に礫混り砂による盛土。 砂は中粒質砂から粗粒質砂が主体。 礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
4 5 6	3.99	3.40	6.90		礫混り砂	淡茶褐、暗灰			粗粒質砂が主体。 礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
7 8	2.09	1.90	8.80		シルト混り砂	暗褐			微粒質砂から細粒質砂が主体。 シルト分はかなり多く混じる。 また、含水量が多く、非常に緩い。
9 10 11 12	-1.61	3.70	12.50		礫混り砂	褐灰、淡茶褐			中粒質砂から粗粒質砂が主体。 礫径2mmから8mm程度の礫が不均一に混じる。
13	-2.91	1.30	13.80		礫混りシルト混り砂	暗褐			細粒質砂から中粒質砂が主体。 礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。 シルトはかなり多く混じる。 また含水量が多く、かなり緩い。
14 15	-4.81	1.90	15.70		礫混り砂	褐灰			中粒質砂から粗粒質砂が主体。 礫径2mmから10mm程度の礫が不均一に混じる。
16 17	-7.01	2.20	17.90		固結粘土	淡緑灰			粘性は強く、堅い。
18	-8.11	1.10	19.00		風化、砂岩	淡茶褐			強風化から弱風化を受け、 概ね下部になるにしたがって風化の程度は弱くなる。 上部に若干粘土化が見られる。
19 20 21 22	-11.11	3.00	22.00		砂岩	淡茶褐、暗緑褐			中粒質砂岩。 やや亀裂が多いが、硬い。

孔内水位(m)／測定月日：7/27 2.60

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3/30	3
1.45 2.15	5	6	6	17/30	17
2.45 3.15	9	8	8	25/30	25
3.45 4.15	5	6	6	17/30	17
4.45 5.15	5	5	4	14/30	14
5.45 6.15	4	3	3	10/30	10
6.45 7.15	1/15	1/15		2/30	2
7.45 8.15	1	1	1	3/30	3
8.45 9.15	5	8	9	22/30	22
9.45 10.15	6	7	7	20/30	20
10.45 11.15	10	12	12	34/30	34
11.45 12.15	9	11	12	32/30	32
12.45 13.15	1	2	1	4/30	4
13.45 14.15	8	10	12	30/30	30
14.45 15.15	12	19	16	47/30	47
15.45 16.15	4	4	6	14/30	14
16.45 17.15	6	7	7	20/30	20
17.45 18.15	9	15	15	39/30	39
18.45 19.15	18	14	18/8	50/28	54
19.43 20.15	21	29/8		50/18	83
20.33 21.05	50/5			50/5	300
21.10 22.00	50/2			50/2	750
22.02					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法

室内試験（　）

掘進月日
7/25
7/26
7/27